小学校「外国語活動・外国語科」の授業づくり スタンダード

東濃教育事務所

◎『単元終末の授業を仕組む上でのポイント』

- ① 魅力的な言語活動の設定 ② 「活動 I →中間交流→活動 II 」の流れ
- ③ 「言語面」と「内容面」からの振り返り

1 語話動の提示 ◎児童が主体的に取り組むことができる言語活動を設定する。

【ポイント】

- ※言語活動の設定は、その活動を行う目的や場面、状況をはっきりさせることが大切です。
- ※「ALTの先生に、自分の好き嫌いを伝えながら、昼休みに遊ぶことを決めよう。」や「同じ好きなものや嫌いなものがある仲間を見つけよう。」など、『児童が英語を使って達成するべき課題(タスク)』を言語活動として設定すると、主体的に取り組みやすくなります。

2 活動 I ◎思いきって、まずは活動をやらせてみる。

【ポイント】

※言語活動を行う前に、使わせたい言語材料を機械的に練習させるのではなく、<u>まずは活動を思いきっ</u>てやらせてみる。つまり、言語活動をしながら、習得をさせるという意識が大切です。

3 中間交流 ◎課題を達成させるために、指導を行う時間(中間交流)を位置付ける。

【ポイント】

- ※児童のよい姿を紹介し、課題達成に向けての方向性を確認します。
- ※課題を達成させるために、児童の学習状況に応じて、「『慣れ親しみ(外国語活動)』や『定着(外国語科)』が不十分な言語材料」や「身に付けさせたい態度や技能」を指導する時間にします。
- ※「こんなことを言いたかったけれど、英語で言えなかったこと」の解決策を共有する時間にします。

4 活動Ⅱ ◎「中間交流」で指導したことを活かして、活動を行わせる。

【ポイント】

※児童の言語活動を観察したり、<u>教師も児童と一緒に言語活動を行ったり</u>することで,「中間交流」で 指導したことができているかを見届けます。

5 振り返り ◎「言語面」と「内容面」で振り返りを行わせる。

【ポイント】

※「慣れ親しませたい(定着させたい)言語材料の使用」や「身に付けさせたい態度や技能に関して工夫したこと」(言語面)と「伝えられたことや分かったこと」など(内容面)について振り返りをさせます。

【参考資料】平成22年度 岐阜県教育委員会 授業改善プラン <実践事例2> http://www.gifu-net.ed.jp/ssd/sien/gakuryokusougou_suisin/shoutyugakkou/shutyuH22/10gai/gaikoku%202%201.pdf

中学校「外国語科」の授業づくり スタンダード

東濃教育事務所

◎『単元終末の授業を仕組む上でのポイント』

- ① 魅力的な言語活動の設定 ② 「活動 I →中間交流→活動 II 」の流れ
- ③ 「言語面」と「内容面」からの振り返り

1 言語動の提示 ◎生徒が主体的に取り組むことができる言語活動を設定する。

【ポイント】

- ※言語活動の設定は、その活動を行う目的や場面、状況をはっきりさせることが大切です。
- ※「たくさんの外国人観光客に来てもらうために、日本を初めて訪れる外国人向けにお勧めの場所を紹介しよう。」など、『生徒が英語を使って達成するべき課題(タスク)』を言語活動として設定すると、主体的に取り組みやすくなります。

2 活動 I ◎思いきって、まずは活動をやらせてみる。

【ポイント】

※言語活動を行う前に、使わせたい言語材料を機械的に練習させるのではなく、<u>まずは活動を思いきっ</u>てやらせてみる。つまり、言語活動をしながら、習得をさせるという意識が大切です。

3 中間交流 ◎課題を達成させるために、指導を行う時間(中間交流)を位置付ける。

【ポイント】

- ※生徒のよい姿を紹介し、課題達成に向けての方向性を確認します。
- ※課題を達成させるために、生徒の学習状況に応じて、「『定着』が不十分な言語材料」や「身に付けさせたい態度や技能」を指導する時間にします。
- ※「こんなことを言いたかったけれど、英語で言えなかったこと」の解決策を共有する時間にします。

4 活動Ⅱ ◎「中間交流」で指導したことを活かして、活動を行わせる。

【ポイント】

- ※生徒の言語活動を観察したり、<u>教師も生徒と一緒に言語活動を行ったり</u>することで,「中間交流」で 指導したことができているかを見届けます。
- ※生徒の学習状況により、中間交流で指導したことについて、必要に応じて、個に応じた指導・援助や 再度全体指導を行います。...

5 振り返り ◎「言語面」と「内容面」で振り返りを行わせる。

【ポイント】

- ※「発話したことの書きまとめ」(言語面)と「伝えられたことや分かったこと」など(内容面)について振り返りをさせます。
- ※次時に『町PRパンフレット』として書きまとめるなど、複数領域にまたがる統合的な活動を工夫することも効果的です。